

兼山取水口



愛知用水の取り入れ口兼山取水口は、愛知用水の水源牧尾ダムから木曾川を120km下った岐阜県加茂郡八百津町（河口から約78km）にあり、関西電力（株）の兼山ダムの直上流に位置し、3門のゲートにより最大毎秒30m³を取水している。

二期事業では、バイパストンネルへの分流施設を新設するとともに、取水口法面を補強し、管理事務所（上流管理所）を新築した。



愛知用水完工記念碑

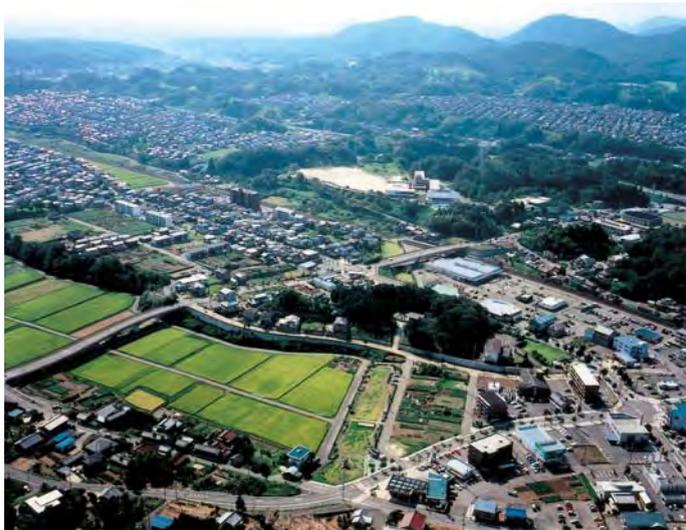
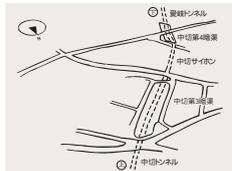
この本昔の水は百年の
夢をうつつに愛知用水
として深遠の野をうるほす
ゆくてに幸多かれ



なかさり 中切暗渠(中切開水路)

この地点は、岐阜県可児市稚子地区で、兼山取水口から約13km地点の岐阜県と愛知県の県境にあたり、愛知用水建設当時のどかな田園地帯であった。

二期事業実施時には可児市の一大住宅団地として開発が進み、この変化に対応した水路の改築として、開水路を暗渠化し、その上部を利活用するための基礎整備をNTT-A型事業で実施し、公園として利用している。



ぜんじの 善師野開水路

愛知県犬山市善師野地区、愛知県に入って始めて顔を見せた幹線水路。等高線に沿って蛇行し、高位部はトンネルで抜けている。

二期事業では、開水路を二重化し、トンネル部はバイパストンネルを新設した。また、集落に近接した一部の開水路を暗渠化した。

